## 広 自 由律俳句 報文芸

# お おくさの会編集室選

# 稲刈りま近夕日の空舞うとんぼが光る 茶 屋 小 林

道子

黄蝶が舞い鈴虫の声猛暑の裏に秋が来ている 茶 屋 木山 輝子

生り過ぎた胡瓜曲りが目立つ晩夏光

草の中西瓜ゴロンとひとりじめ

生 Ш 渡辺 圭子

定年のない畑仕事今日も気ままに終りとする

神戸上

柴田

篤子

宝 谷 長尾 智恵

盆が過ぎ又いつもの二人の暮らし 茶 屋 長谷川由美子

命守るのにエアコン大変なご時世になった 茶 屋 藤原

寿郎

錦秋の風さわやかに頬なでる

# 旬

俳

# 駄句駄句会編集室

例制定後、

手話を見かける機会が 鳥取県では手話言語

条

日南町手話サークル

増えています。

畑出てかじるオクラのやわらかさ 秋茜夕日をあびつ田の上を 少女として涙流した終戦日 宮 萩 内 原 岡本

ぬける空零れんばかりの百日紅

盆むかえ家族に会えて安心す

ナベ鶴が落穂ついばむ風物詩

青空に柿色づきてまず墓前

サルがきた青柿おとすカニ逃げろ

夏まつり見上げる花は闇に咲く

宮 宮 内 内 舩越

神戸上 矢 戸 笹間 和田 玲子 淑子

花 田邊 正人

下石見 花 矢田貝

新田 新田 祐士

花

## 田邊登志美 木村萬佐子 健三

# 10月の日程

裕子

問合せ】 場所:文化センター第3会議室 6日(日)·20日(日)14時~15時30分

浅野 石田由香里 (080-3052-9933) 博美 (090-9734-1887)

「おいしい」

破れたら捨てて終えと孫の言う

個人での投稿もできますので、お気軽にお送りください。

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介しています。

秋風に流るる雲や何処へぞ

柿の実色付き今を栄りに

ババの時代は繕いで着たのに

下石見

佐伯みすず

上石見

福田

輝之

爽やかな風に揺れゆくコスモスに

世の習い努力をすれば報われる

やってみなはれ結果が全て

笑顔集いてノルディックウォーク

上石見

福田

輝之

下石見

浅川

三郎

下石見

浅川

三郎

湯

河

司郎

花の匂いに香茸の香り

酷暑過ぎ耐え抜いてきて秋の風

日の丸に胸躍らせるパリ五輪

世界を制し夢を形に

短

歌

## 「料理」



で切る様子) 横で右手を垂直に下 げる

軽くにぎった左手の

「手話表現には、色々な表現方法があります。」



親指以外の指をそろえ て口元に置き回す



右手を左ほおに そのまま右手をあご のラインに沿って右 ほおまで移動させる

## 「甘い・砂糖・佐藤」



な手話の学習会を開催しています。手では、1ヶ月に2回のペースで基本的

話に興味をお持ちの方は、 手話を学んでみませんか。

緒に

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を